

特集

いたい、かゆい、きもちいい 皮膚の知識、触れる技術

いたい(痛い)、かゆい、きもちいい……こうした表現に代表される感覚がもっとも集中しているのが、人間の皮膚です。そして看護は、清拭、検温などの日常業務を通して、もっともこの皮膚にかかわる場面の多い職業といえるでしょう。

近年、皮膚を単なる「臓器を包む外皮」としてでなく、自律的な臓器システムとして捉えなおす視点が登場し、またそれに伴って「触れる」ことへの関心が高まっています。

看護が長年にわたって当たり前のように行なってきた「身体に触れるケア」について、「皮膚」の視点から見直してみましょう。

■いたい、かゆい、きもちいい

皮膚感覚のしくみと意味 山口創

■触れられるように触れる 触れるように触れられる

Abuse のない介助をめざして 熊谷晋一郎

■武術稽古から考える「人を動かす触れ方」

自他の境界があいまいになる臨界圧力内での接触 中島章夫

■感覚的身体観を取り戻すために

皮膚と皮膚の接点に現れる不思議な現象 北村啓

特別記事

愛国呆談 第1回 思春期化する日本

内田樹×名越康文

編・集・後・記

●今年も夏の暑い日が続きました。この季節にスーツなどを着ていると強く暑さを感じます。しかし、職場では冷房が効いていてすぐに寒くなる。そんな夏をどう乗り切るかが毎年の悩みのタネでしたが、今年は秋を迎える直前に解決法を会得しました。それは、夏に暑いのは当たり前、汗をかくことも当たり前、むしろ汗をかくことは身体にとっていいことだ。水を飲んでガンガン汗をかこう、汗をかくって気持ちいいじゃないか!と強く思うことです。思うだけで物足りなければ、言葉に出して呟きます(怪しいでしょうか)。そうすると不思議なことに、暑さがまったく気にならなくなり、冷房もそこまで必要としなくなります。心頭滅却云々とはよくいったもので、要は気のもちようですね。その気持ちで秋も仕事に励みます。 【吉田】

●先日お会いした K 氏夫妻は、群馬県の山中の「どんぐり亭」という山小屋に不登校児とその親を招く活動をされています。目の前の畑で取れた野菜を井戸水で洗い、自分で起こした火で料理し、それを食べることで、親子がともに問題に向き合うきっかけになるとのこと。その K 氏夫妻から聞いたお話でいちばん興味深かったのが、手動のコーヒーマルのお話でした。訪れたご両親のほとんどが、豆を挽くようお願いすると、猛烈な勢いでハンドルを回し、あっという間に粉になってしまうのだそうです。あたかも、誰よりも早く結果を出さなければ、敗北であるかのように。「結果を急ぐのは都会人独特の病だなあ」と思いながらも、そうやって無意識に結論を出してしまう自分も「都会病」かも、と思い、「結果にこだわらず、過程を楽しむ」と言うはやすし、行なうは難しと再認識の群馬行でした。 【鳥居】

看護学雑誌 第72巻第10号 2008年10月1日発行(毎月1回発行)

発行/株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体 1,200円+税5%) 年々め予約購読料 13,200円(税込、送料弊社負担)

・定期購読のお申し込み先/(株)医学書院販売部 TEL 03-3817-5659

・Vol.70 No.8以前のバックナンバーのご注文先/(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

『看護学雑誌』編集室(担当/白石・鳥居・吉田) TEL 03-3817-5772

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(TEL 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0386-9830/08/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。